

平成30年度 事業報告書

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構

事業費 229,719 千円

公1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業 事業費 109,156 千円

県で策定したファルマバレープロジェクト戦略計画に基づき、産学官金、医看工連携による画期的な医療機器等の開発による新産業の創出と人材育成を図り、地域経済の活性化につなげるため、各事業を実施した。

1 ファルマバレープロジェクト推進事業 事業費 96,630,784 円

ファルマバレーセンターを運営し、アドバイザーを活用した共同研究や医看工連携による研究開発の推進を行うほか、交流会や医療機器等テーマ実現化のための検討会議等を開催し産学官金の交流や産業化を支援した。

(1) 産学官金ネットワーク形成

産学官金ネットワークを形成させるための産業支援ネットワーク会議の開催や、大学・企業の訪問調査等を実施した。

ア 産業支援ネットワーク会議（全6回）

会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター

参加者：各回 約 50 名（商工団体、教育・研究機関、金融機関、行政）

開催日	内 容
H30. 4. 18	産学官金関係機関の情報交換 「平成 30 年度ファルマバレーセンターの活動について」
H30. 6. 20	産学官金関係機関の情報交換 「富士宮市の中小企業支援策～「富士宮モデル」～について」
H30. 7. 18	産学官金関係機関の情報交換 「AOI-PARC 視察」
H30. 9. 26	産学官金関係機関の情報交換 「世界の医療健康産業市場等の動向と JETRO による企業の海外展開支援について」
H31. 2. 27	産学官金関係機関の情報交換 「知的財産権戦略セミナー：商標やブランドを侵害された場合の対応及び侵害してしまった場合の対応について」
H31. 3. 20	産学官金関係機関の情報交換 「平成 30 年度補正『ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金』の公募について」

イ 「超高齢社会における健康寿命延伸・自立支援」プロジェクト検討のため、有識者会議を開催した。

開催日：平成31年1月29日

会場：静岡県医療健康産業研究開発センター

出席者：有識者4名

県・ファルマ関係者14名

ウ 企業、大学、医療機関等の訪問
370ヵ所（延べ件数）

エ かかりつけ湯の推進
かかりつけ湯の選定 41施設（H31.3現在）
パンフレット作成（3,000部）

(2) 新産業・新事業シーズ創出

医療・介護現場のニーズを製品化に結び付ける医用機器等開発テーマ実現化のための検討会議の開催及び同会議で実現化の候補になった開発テーマについて、医療機器等の製品化に向けた技術的課題を解決するために医療機器等可能性調査（試作）を行った。

ア ニーズ検討・製品開発会議

開催日	内 容
H30. 4. 27	①医療機関から臨床現場における医用機器開発等に関わるニーズを収集。 ②収集したニーズについて、試作、事業化への取り組みについて協議。
H30. 6. 26	
H30. 8. 21	
H30. 10. 30	③試作・製品化に取り組む案件については、『可能性調査審査会』へ上程。
H30. 12. 4	○収集したニーズ 19件
H31. 3. 6	○可能性調査審査会へ上程 7件

イ 可能性調査審査会 2回（9/12、11/15）

開発テーマ7件を審査し、6件を採択した。（実証試作を委託）

開発テーマ	委託先
開創器（高強度プラスチック製）	(株)ハヤブサ
生検針の穿刺装置（乳腺検診用）	東海部品工業(株)
保冷枕（耳の褥瘡防止）	山本被服(株)
嘔吐袋	(株)トライカンパニー
駆血補助装置	(株)テクノサイエンス
検体取り違い防止識別マーカ	東洋カプセル(株)

(3) 医療機器等開発助成事業

県内中小企業の研究開発成果の早期実用化を推進するため助成をした。

応募：9件

採択：6件

審査会：平成30年6月21日

交付確定額：8,744千円

事業テーマ	企業名	企業所在地
放射線治療用補助具「3Dアジャストポーラス」の開発	(株)ア・ジャストポリマー	御殿場市神場
マウスピース型歯科用口唇筋力固定装置の開発	ヤザキ工業(株)	富士市松岡
軽量四点杖の新形状を実現するマグネシウム合金加工技術の開発	(株)マクルウ	富士宮市山本
腰痛防止の抱き上げない移乗機 TRANSing シリーズの市場導入	(有)京和工業	長泉町南一色
歯周病ポケット測定器の事業化	深澤電工(株)	長泉町桜堤
個別対応型 MRI/MRE ファントムの実用化開発	(株)アールテック	浜松市東区

(4) 研究開発支援

企業の有する高い技術力を生かした研究開発に対し、専門家アドバイザー等を活用し、「医薬品・医療機器等の品質有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」等に準拠した開発を支援した。

(5) 医療健康関連産業人材育成

ア 地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるため、技術経営、知的財産権を生かす交渉学の習得や、意思決定力の向上等を目指した講座を開催した。

○ 経営戦略セミナー（全8回）

講師：隅田浩司 東京富士大学経営学部長

三好陽介 ランドン IP 合同会社事業開発部長

会場：静岡県医療健康産業研究開発センター

受講者：22名

開催日	内 容
H30. 8. 23	<技術経営入門> 技術で勝ち、経営で成功するための基本戦略を学ぶ
H30. 9. 6	<技術経営の基礎理論> テクノロジー・マネジメントに関する最近のトレンドを学ぶ

H30. 9. 19	<戦略思考概論> 戦略策定に必要な戦略的思考、論理力、推論力を強化する
H30. 10. 10	<組織論入門> 個を生かし、組織を活性化するための方法論を学ぶ
H30. 11. 1	<交渉学入門> 社内の資産、特に知的財産権を生かす交渉の基礎理論を学ぶ
H30. 11. 7	<戦略的意思決定とリーダーシップ> リスクを把握し適切な意思決定を行い、リーダーシップを発揮する方法論について学ぶ
H30. 11. 21	<経営戦略論> 経営戦略について、特に戦略の意義及び戦略策定力について学ぶ
H30. 12. 12	<デジタル・エコノミーと市場分析、戦略> デジタル・エコノミーと経営戦略、特にプラットフォーム及びイノベーションに関する経営戦略に必要な分析手法について学ぶ

イ 医療機器開発においてリーダーとなりうる人材を育成するためのセミナーを開催した。

○ バイオデザイン入門セミナー（全2回）

講 師：池野文昭 スタンフォード大学循環器科 主任研究員
八木雅和 大阪大学大学院医学系研究科バイオデザイン学
共同研究講座特任准教授

会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター

受講者：35名

開催日	内 容
H30. 8. 24	<医療機器開発のためのスタンフォード・バイオデザインを学ぶ> ① バイオデザインのコンセプト ② ニーズ特定のプロセス
H30. 9. 7	③ ニーズ選別のプロセス ④ コンセプト創造のプロセス ⑤ コンセプト選択のプロセス

(6) 新成長産業戦略的育成事業

ア QMS体制構築支援事業

医薬品・医療機器等法に基づくQMS体制整備と運用に精通する人材育成に取り組む地域企業に専門家を派遣し、品質管理体制の整備・強化に向けた支援をした。

○ 専門家派遣

応 募：4社

採 択：4社

審査会：平成30年6月28日

企業名	住所
(株)サンキョーメディック	富士市伝法
ヤザキ工業(株)	富士市松岡
(株)エステック	駿東郡清水町伏見
日商産業(株)	駿東郡長泉町東野

イ 医薬品医療機器等法アドバイス事業

医薬品、医療機器業界への参入の障壁となっている、医薬品医療機器等法の規制などの相談に対してアドバイザーが助言をし、参入促進等を図った。

- 相談会 8回開催（相談 14件）

(7) 広報・販路開拓

ア ファルマバレープロジェクト関連ニュースのレター発行や同プロジェクト普及促進のためのパンフレットの作成等を行った。

○視察受入れ	37 団体	214 名
○メールマガジンの配信	103 回	配信
○ニュースレターの発行	6,000 部	
○ファルマバレープロジェクトパンフレット作成		7,000 部

イ 全国の展示会や地域の産業祭に出展し、ファルマバレーセンターの活動やプロジェクト関連企業などのPRとともに、販路開拓に向けた支援を行った。

展示会等	開催場所	開催日
Medtec Japan 2018	東京ビッグサイト	平成 30 年 4 月 18 日～20 日
メディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ 2018	パシフィコ横浜	平成 30 年 5 月 31 日～6 月 2 日
清水町産業祭	清水町	平成 30 年 10 月 8 日
HOSPEX Japan 2018	東京ビッグサイト	平成 30 年 11 月 20 日～22 日
長泉町産業祭	長泉町	平成 30 年 11 月 25 日
富士市産業祭	富士市	平成 31 年 2 月 8 日・9 日
MEDIX Kansai	インテックス大阪	平成 31 年 2 月 20 日～22 日
Medtec Japan 2019	東京ビッグサイト	平成 31 年 3 月 18 日～20 日

2 富士山麓ビジネスマッチング促進事業

事業費 12,525,000 円

医療機器製造分野への参入を目指す地域企業などを対象に、医療機器メーカーとの取引促進や産学官連携等から創出される製品化シーズと地域企業が有する技術とのビジネスマッチングを支援するため、各社の製品・技術等に関する訪問調査をはじめ、医療機器ビジネス参入セミナー、マッチングセッションなどを開催した。

(1) 専門講座の開催

- 医療機器ビジネス参入セミナー（全4回）

会場：静岡県医療健康産業研究開発センター

受講者：35名

開催日	内 容
H30. 7. 27	開発者の視点から医療機器を考える その1 「医療機器の開発において何に留意するか？」 講師：清水美雪 (株)メディカルラボパートナーズ 代表取締役
H30. 7. 27	法規制の側面から医療機器を考える その1 「開発した製品を法的に仕上げる」 講師：石黒克典 医療機器産業研究所 上級研究員
H30. 8. 3	開発・企業経営の視点から医療機器を考える その2 「医療機器ビジネスの事業性を考える」 講師：高山修一 医療機器産業研究所 上級研究員
H30. 8. 3	法規制の側面から医療機器を考える その2 「医療機器の販売や流通において何に留意するか？」 講師：石黒克典 医療機器産業研究所 上級研究員

(2) 技術シーズ情報の収集

企業情報「ふじのくにの宝物 2018」の発行
掲載 482 社
発行 2,400 部

(3) マッチングセッションの開催

ア 富士山麓産学官金連携フォーラム

初の試みとして、県東部4信金主催のビジネスマッチング商談会と併催。

開催日：平成30年11月6日

会 場：プラサヴェルデ（沼津市）

<企業等出展>

出展団体 77 団体

来場者 800 名

<講演>

○基調講演

「株式会社リコー リコー環境事業開発センターの取り組み」
～ オープンイノベーションによる地域連携 ～

講師：出口裕一 (株)リコー リコー環境事業開発センター 事業所長

○静岡県 IoT 応援ツール展示会セミナー

「まずは身の丈に合った IoT を！」
～ 中小企業の導入事例から ～

講師：池谷隆典 (株)叢雲堂 代表取締役

<出展者プレゼンテーション>

発表団体 8 社

イ MEDIX Kansai (第9回ヘルスケア・医療機器 開発展) (再掲)

開催日：平成30年2月20日～22日

会場：インテックス大阪(大阪市)

来場者：161名(PVCブース来場者)

市町ゾーン展示	
静岡県東部12市町PR	パネル展示、パンフレット配架
ファルマバレープロジェクト	パネル展示(PVC、PVP、東部12市町の取り組み)
企業ゾーン展示	
(有)京和工業(長泉町)	抱え上げない移乗機「TRANSing」展示
深澤電工(株)(長泉町)	歯周ポケット測定器展示
(株)トライ・カンパニー(沼津市)	医療用消臭剤「デオドラントケア」展示
(株)丸井商事(静岡市)	心臓カテーテル手術用手台「ラディ丸」展示
ヤザキ工業(株)(富士市)	歯科用唇筋力固定装置「Myパタカラ」展示
(株)マクルウ(富士宮市)	マグネシウム合金製小型四点杖展示
(株)ア・ジャストポリマー(御殿場市)	「サーフェスマーカー」ほか展示

ウ 沼津市立病院内展示会

開催日：平成31年2月6日

場所：沼津市立病院2階講堂

出展：出展企業 12社

来場者数 84名

(4) 企業訪問、事業化等の各種支援

94箇所(延べ件数)

公2 医薬品創出促進事業

事業費 61,119千円

ファルマバレープロジェクトの一環として、先進医薬の普及促進及び医療の質の向上のため、静岡県治験ネットワークの運営及び充実を図るとともに、静岡発の創薬を目指した創薬探索研究を推進した。

1 先進医薬普及促進事業

事業費 24,464,791円

静岡県治験ネットワーク体制の強化、充実を図るため、ネットワークの運営事務局を担い、支援倫理委員会の運営や教育研修を実施するとともに、治験に対する県民の理解を深めるための啓発活動等を行った。

(1) 治験ネットワークの運営

○推進部会の開催

開催日	会議名	内容	会場	出席者
H30. 6. 22	静岡県治験ネットワーク推進部会（全体会議）	本年度事業説明	レイアアップ 御幸町ビル	31名
H31. 3. 13	静岡県治験ネットワーク推進部会（全体会議）	本年度事業実績	レイアアップ 御幸町ビル	32名

○ネットワーク病院の訪問 8病院

(2) 支援倫理委員会の運営

○支援倫理委員会部会の開催

部会を開催し、臨床研究に関するマニュアル（臨床研究標準業務手順書）の検討を行った。

開催日	会場	備考
H30. 7. 19	静岡駅ビル「パルシェ」	IRB 委員等研修部会
H30. 9. 12	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
H30. 10. 21	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
H31. 1. 30	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
H31. 3. 25	浜松駅前ビル	〃

(3) 治験の推進

企業への営業活動、医療機関の調整等			
製薬企業、団体等への訪問 4社（延べ13回）			
治験実施の相談、受託支援（平成15年から延べ）			
相談	53社	175	プロトコール
支援契約	39社	121	プロトコール（平成30年度2社、2プロトコール）

(4) 教育研修

○スキルアップ研修等 4回開催

開催日	研修名	内容	会場	出席者
H30. 9. 22	認定 CRC 養成講座	スキルアップ研修	CSA レイアップ 御幸町ビル	13 名
H30. 10. 20	英語トレーニング 講座	スキルアップ研修	CSA レイアップ 御幸町ビル	17 名
H31. 1. 19	西部 CRC の会	実務検討会	プレスタワー (浜松)	50 名
H31. 2. 16	アドバンスト セミナー	領域別治験研修 (腎疾患・認知 症)	日大三島北口校舎	109 名

(5) 静岡県治験ネットワーク病院の臨床研究の推進

静岡県治験ネットワークにおける臨床研究の活性化を目的として、平成 29 年度から臨床研究検討ワーキンググループを中心にネットワークで実施する臨床研究についての検討を進めている。

平成 30 年度は、1 件目の臨床研究を開始するとともに、2 件目の臨床研究のテーマについての検討を行った。

(6) 県民への治験啓発活動

ネットワーク病院が行うオープンホスピタル等、一般住民が参加する機会を捉え、普及啓発用資材を活用した啓発活動を行った。

2 創薬探索研究事業

事業費 36,654,000 円

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所等と連携し、静岡発の創薬を目指した創薬探索研究を推進した。

(1) 化合物収集等

ア 創薬探索助言委員会

開催日：平成 31 年 3 月 14 日

場 所：静岡県医療健康産業研究開発センター

委 員：7 名

静岡県環境衛生科学研究所及び静岡県立大学創薬探索センターの活動状況について報告を行った。

静岡県立大学創薬探索センターと企業とのアライアンスの状況について報告を行った。

外部機関との共同研究の実施状況について報告を行った。

委員からの助言を受けた。

イ 化合物収集、共同研究

○化合物収集

化合物収集、共同研究の調整を行った。

ライブラリー化合物収集数 約 12 万種類

特許申請累計 26 件 (うち海外出願 12 件)

登録累計 7 件

○県内外機関との共同研究

静岡県内外の研究機関等と共同研究を実施した。ファルマバレーセンター所有の化合物ライブラリーから化合物を共同研究先に提供し、新規医薬品候補化合物の探索を進めた。

共同研究先 10 件

(2) 創薬探索研究委託事業

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所へ医薬品候補化合物の可能性検討や化合物ライブラリーの管理を委託した。

公3 臨床研究支援事業

事業費 17,980千円

静岡がんセンターを中心に地域がん診療連携拠点病院（10医療機関）と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図るとともに、臨床研究を支援した。

1 静岡がん治験ネットワーク推進事業

事業費 5,526,490円

静岡がんセンターを中心に地域がん診療連携拠点病院（10医療機関）と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図った。

(1) 全体会議の開催

開催日	内 容	会 場	出席者
H30.12.27	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん患者を対象とした多施設共同臨床試験及び進行固形がん患者を対象とした多施設共同臨床試験結果の検討 新規テーマの検討 	パルシェ会議室	23名

(2) 胃がん患者を対象とした多施設共同臨床試験の実施

参加医療機関：18医療機関（県内11機関・県外7機関）

(3) 進行固形がん患者を対象とした多施設共同臨床試験の実施

参加医療機関：10医療機関（県内10機関）

2 臨床研究推進事業

事業費 12,453,236円

医療技術の進歩に寄与する先進医療の開発促進、エビデンスの確立等を図るため、静岡県治験ネットワーク登録医療機関に所属する研究者が主体となり計画、実施する臨床研究に対し支援した。

試験名	研究内容	使用薬剤	実施期間
JASPAC01-A1	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究（JASPAC01 附随研究）	塩酸ゲムシタピン S-1	平成18年度～
JIPANG	市販されている抗がん剤（肺がん）に関する多施設共同臨床研究	シスプラチン ピノレルピン ペメトレキセド	平成23年度～
JASPAC04	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタピン S-1 放射線	平成23年度～
JASPAC05	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタピン S-1 放射線	平成24年度～

JASPAC06	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	オキサリプラチン イリノテカン フルオロウラシル レボホリナートカルシウム	平成 26 年度～
FAST-ERAS Trial	市販されている経腸栄養剤に関する単施設臨床研究	経腸栄養剤	平成 26 年度～
ABLE	市販されているアミノ酸飲料に関する単施設臨床研究	アミノ酸飲料	平成 26 年度～
TS-1 涙液	市販の抗がん剤（胃がん）の単施設臨床研究	TS-1	平成 27 年度～
EXPECT-study	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	エリブリン	平成 27 年度～
MODURATE	市販の抗がん剤（大腸がん）の多施設共同臨床研究	イリノテカン ベバシズマブ TAS-102	平成 28 年度～
OPERA02	舌再建術後の機能に関する多施設共同臨床研究	なし	平成 29 年度～

公4 研究開発等推進事業

事業費 38,697千円

国等が実施する支援事業の事業管理機関として、企業、研究機関及び医療機関とコンソーシアムを組み、研究開発等の再委託をするなど事業管理を行うとともに、多施設共同で医薬品等の研究開発を行った。

1 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）

事業名	事業内容	研究開発機関
骨端用プレートの高品質・低コスト成型加工技術の開発	チタン合金を使用した、高品質・低コストの成型加工技術を国内で初めて開発・確立することにより川下業者・社会の問題を解決に導く。	東海部品工業(株) 沼津工業技術支援センター

2 地域中核企業創出・支援事業（経済産業省）

事業名	事業内容	支援対象企業
体外診断用医薬品の海外販路の拡大・強化支援事業	支援企業製品の海外での取扱い業者獲得や、製品供給エリア拡大に向けた支援	(株)タウンズ
超微細加工技術に基づいたリンパ浮腫治療に革新をもたらす治療システムの構築	微細血管吻合手術における革新的ステント開発の事業化及び、治療システム構築に向けたデバイスの性能評価を支援	タマチ工業(株)

3 次世代がん医療創生研究（日本医療研究開発機構）

○多施設共同研究
 <研究テーマ（参画機関）>
 tRNA エピトランスクリプトーム創薬で実現するがん幹細胞標的型抗がん剤の開発
 （国立大学法人 岡山大学）

4 地域中小企業知的財産支援力強化事業（中部経産局）

○事業名
 <モノ語りプロジェクト>
 産学連携機関主導型の医療機器関連知財の社会実装化プログラムの構築
 （公益財団法人名古屋産業科学研究所）

収 益 事 業

事業費 166,498千円

収1 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業 事業費 120,258,490円

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理者として、施設の管理業務等を行った。

1 施設の管理事業

- (1) 施設の維持、管理業務として、「施設警備」「設備の保守・点検」「日常清掃」「衛生関係」「植栽管理」等を行った。
- (2) 施設維持管理、危機管理の観点から入居企業・県・委託業者と定例会議を行った。

○ 施設管理会議

開催日	内 容	場 所
H30. 4. 19	施設点検日程・防災訓練について・センターからののお知らせ 他	PVC 大会議室
H30. 5. 17	施設点検日程・防災訓練について・センターからののお知らせ 他	PVC 大会議室
H30. 6. 21	施設点検日程・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H30. 9. 20	施設点検日程・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H30. 10. 18	施設点検日程・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H30. 12. 13	施設点検日程・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H31. 1. 17	施設点検日程・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H31. 2. 21	施設点検日程・防災訓練について・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室
H31. 3. 14	施設点検日程・防災訓練について・センターからののお知らせ・県からの連絡 他	PVC 大会議室

2 入居者支援事業

施設に入居する企業の研究開発事業に対し、リーディングパートナー企業及びオフィス入居企業と連携し、また、企業ごとにラボマネージャー又はコーディネーターが担当して伴走支援するなど、きめ細かいサポートを実施した。

○ 支援連絡会

開催日	内 容	場 所
H30. 4. 19	SCC 倫理研修のお知らせ 他	PVC 大会議室
H30. 5. 17	テルモ(株)ME センター施設見学のお知らせ 他	PVC 大会議室
H30. 6. 21	製品開発セミナー開催のお知らせ 他	PVC 大会議室
H30. 9. 20	超高齢社会における健康寿命延伸システム 構築プロジェクト(案)の紹介 他	PVC 大会議室
H30. 10. 18	東海部品工業(株)の企業紹介 他	PVC 大会議室
H30. 12. 13	裾野警察署交通課職員による交通安全講話 他	PVC 大会議室
H31. 1. 17	(株)サイダ・FDSの企業紹介 他	PVC 大会議室
H31. 2. 21	ヤザキ工業(株)の企業紹介、サンスター(株)の 冊子紹介	PVC 大会議室
H31. 3. 14	オリンパスバイオマテリアル(株)の企業紹介	PVC 大会議室

○ テルモ(株)ME センター施設見学

開催日	内 容	参加者
H30. 7. 4	入居企業の今後の製品開発を推進するため、医療機器分野のリーディングカンパニーの研究開発体制、品質管理体制等を視察し、最先端の現状を知る。	15名

○ 新竹バイオサイエンスパーククラスター(台湾)との情報交換会

開催日	内 容	参加者
H30. 10. 12	入居企業の海外展開支援の一環として、台湾のライフサイエンス産業を牽引する台湾工業技術研究院と関連する台湾企業との情報交換会を開催。	入居企業 4社 台湾企業 3社

3 連携・交流事業

入居企業間、入居企業と地域企業等との交流を促進するとともに、アイデア創出やマッチングの場を提供するため、施設を活用したセミナー・講演会等を開催した。

開催日	セミナー	内 容	参加者
H30. 7. 19	製品開発セミナー	入居企業や地域企業の新たなアイデア創出につなげるための、セグウェイ社による講演とセグウェイの試乗	50名
H31. 1. 24	ピラティススクール	入居企業職員間の交流を促すための、女性職員を対象とした健康維持に資する講習	18名
H31. 2. 27	知的財産権戦略セミナー	商標やブランドを侵害された場合の対応及び侵害してしまった場合の対応についての講演	52名

4 貸館事業

医療健康分野の人材育成や産業振興など、医療機関、企業、産業支援機関等の利用を想定し、広く会議室を貸出した。

5 広報

静岡県医療健康産業研究開発センターのPRと貸会議室の利用促進のため、各種団体の視察を受け入れるとともに広報用パンフレットを作成した。

- | | |
|-------------|----------|
| ○視察受入れ 37団体 | 214名(再掲) |
| ○パンフレット作成 | 2,000部 |

収2 治験審査委員会運営事業

事業費 46,239,335円

静岡がんセンターが平成22年度から設置している企業治験専門の治験審査委員会を運営した。

○治験審査委員会運営（月1回開催）

回数	開催日	会場	新規審査	継続審査	変更審査
1	H30. 4. 19	トラストシティ・カンファレンス（東京）	3件	206件	33件
2	H30. 5. 17	〃	4件	172件	39件
3	H30. 6. 21	〃	5件	249件	52件
4	H30. 7. 12	〃	3件	145件	22件
5	H30. 8. 16	〃	4件	254件	34件
6	H30. 9. 20	〃	2件	215件	43件
7	H30. 10. 18	〃	2件	183件	40件
8	H30. 11. 15	〃	4件	192件	39件
9	H30. 12. 20	〃	4件	226件	47件
10	H31. 1. 17	〃	3件	164件	20件
11	H31. 2. 21	〃	2件	219件	64件
12	H31. 3. 28	〃	3件	231件	52件
計			39件	2,456件	485件

*その他審査案件数：逸脱審査3件、迅速審査480件、保留審査1件、終了等報告50件